

平成30年度
東久留米市立南中学校 学校経営計画

＜教育目標＞

愛の心を育てよう **勉学**に励もう **自主性**を伸ばそう **健康**を育もう

友達を思いやり、心身ともに健康で、自ら学び、自ら考えて取り組む、意欲的に地域・社会に貢献する生徒の育成

＜目指す生徒像＞

- 多様性と共生社会を理解するとともに日本人としての自覚と誇りをもつ生徒
- 自学自習の習慣を身に付け、自分を高めることができる生徒
- 目標をもち、進んで挑戦する生徒

＜目指す学校像＞

- 知・徳・体の調和のとれた生徒を育成する学校
- 生徒一人一人の個性が尊重され、生徒がもつ可能性を引き出す学校
- 自国や他国の伝統・文化を尊重し、国際社会で活躍できる日本人を育成する学校

＜目指す教師像＞

- 常に研究と修養に励む教師
- 生徒、保護者、地域から信頼され、期待に応えられる教師
- 教育目標及び学校経営計画の具現化のために、組織的に生徒を指導する教師

＜平成30年度の重点課題＞

- グローバル社会で活躍できる人材の育成
- 生徒の思考力・判断力・表現力等の育成 ～書く力の育成を通して～
- オリンピック・パラリンピック教育の確実な実践
- 学校、保護者・地域、関係諸機関との連携による多様な教育活動の展開
- 組織的、効率的な学校運営

＜課題解決の具体的方策＞

- 「グローバル社会で活躍できる人材の育成」
 - ・米国の学校との直接交流を通して相手の意図・考え方を的確に理解し、世界各国の人々と臆せず積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、豊かな国際感覚を醸成し、世界の多様性を受け入れる力を身に付ける教育を推進する。
- 「生徒の思考力・判断力・表現力の育成 ～書く力の育成を通して～」
 - ・生徒が自分の思考力・判断力・表現力を深めつつ、論理的で説得力のある文章を書くことができるように、朝学習の時間において意見文を書く活動を、全学年で週当たり1回以上実施する。また、SSS（スクール・サポート・スタッフ）を活用し、添削を行う。
 - ・考えを「まとめる・広げる・深める」力を育成するために、文章を書く活動を全教科で工夫して実践し、生徒の思考力・判断力・表現力等を育成する。
- 「オリンピック・パラリンピックの教育の確実な実践」
 - ・「日本人としての自覚と誇りの涵養」と「多様性と共生社会」をテーマとして、全教科・全領域でオリンピック・パラリンピックを題材とした指導を企業と連携して行い、オリンピック・パラリンピック教育の一層の充実を図る。
- 「学校、保護者・地域、関係諸機関との連携による多様な教育活動の展開」
 - ・担任・学年及び分掌の教員・養護教諭・SC、保護者・地域、SSW・学習適応教室・特別支援学校等関係諸機関の三者が連携して、多様な学習機会を設定し教育活動を展開して、健全育成上の諸課題の解決を図る。
- 「組織的、効率的な学校運営」 ～共通理解・共通実践～
 - ・業務遂行に当たって「基礎基本」「原理原則」を徹底する。
 - ・教育目標達成のために学校組織全体による取組を全教育活動で展開する。